

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第241号

発行日 2022年1月1日発行

インド合弁会社 (Abhishek K Kaiho Recyclers Private Limited)

皆さまこんにちは、社長の近藤です。新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願いいたします。

今回はインド事業についてご紹介します。

私たちは自動車リサイクルという仕事を通して「車のあとしまつ」を世界へ伝え、社会課題解決に向けた取り組みを行っていきたくと考えていますが、世界には13億台にも上る自動車が存在し、そのうち約41,800千台がインドで保有されています。

2018年、インドの最高裁判所は首都であるデリーで車齢10年以上のディーゼル車と15年以上のガソリン車の公道での運転禁止を通告し、2021年4月からは廃車政策の執行を公表しています。しかし、インドには自動車を適正に処理を行う設備、技術が十分にありません。

そのため、しっかりと処理がされていない車輛からの廃油・鉛による土壌汚染、廃プラスチック・ガラス・タイヤの投棄・野焼きによる環境汚染は大きな社会課題となり、近隣住民の健康を脅かしているのが現状です。

そのような背景がある中で、英語での情報発信

を行っていたところ、2016年インドのある会社から私たちに一通のメールが届きました。そこには「世界でも自動車リサイクル事業で活躍している会宝産業とここインドでまだ大きくない自動車リサイクル事業を通して環境汚染問題解決に向けて一緒に取り組みを行えないか考えている。」といった内容が書かれていました。

このメールがきっかけとなり、両社話し合いを進め、2019年インド デリーにあるAbhishek Business Consolidation Private Limitedと合弁会社Abhishek K Kaiho Recyclers Private Limitedの設立に合意し、自動車リサイクル工場設立、稼働に向けて進めています。

インドでは、ジェットロ様にサポートを頂き、ルール形成の流れに上手く乗ることができ、2021年2月からのデリー工場の事業開始に向けて全力を注いでいます。

デリー工場は当社のインド事業の採算性を判断する試金石であり、まずはモデル工場の立ち上げに注力をし、採算性を判断できるタイミングでは、事業の横展開を進め他州への展開も見据えています。

インド～Abhishek K Kaiho Recyclers (AKK)～より



皆さまこんにちは！ Abhishek K Kaiho Recyclers (AKK)の宮川です。12月6日からインドに駐在となり、新工場立ち上げに向けて現地パートナーと準備を進めつつ、異国人として外国人登録手続きなどを進めています。

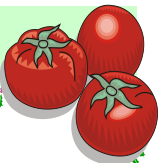
今回はインドで大活躍のZomatoというアプリをご紹介します。現地に着いて間もない頃は右も左もわからず、自炊するにも慌ただしい日々。土地勘もない中で彷徨いながらお店を探す余裕もない私を支えてくれたのがZomatoというアプリです。使い方はとっても簡単です。アプリでZomatoに登録されているお店の食べたいものを選び、注文をすると20分ほどでフードが届きます。

配達ドライバーのワクチン接種有無、現在地など事細かに情報が分かり、支払いもキャッシュレスでボタンを押すだけでフードが届くという魔法のようなアプリ。そんな私ですがZomatoで何回かフードを頼んでみたら生野菜に数日前にあたってしまいました（笑）多くの場合は衛生的に問題ないフードばかりだと思うのですが、渡航直後で疲れも溜まっていて食あたりしやすくなっていたのかもしれません。ちなみにZomatoのキャッチフレーズは「Never have a bad meal.」Zomatoではなく、私の免疫の問題だ、と信じるのみです。

少し余談ですが、会社の同僚がそんな私を気遣ってエナジードリンクだよ！と新鮮なフレッシュジュースをくれました。飲んでみると何だか味が超ユニーク…。明らかなスパイスの香り、そうです、マサラ（スパイス）がたっぷり入ったフレッシュジュースでした。



農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。12月はこれを書いている時点で雪は降りませんでしたが、気温は氷点下を下回る日が数日ありました。廃油温風器は日中でも稼働することがあり、ハウス内温度は最低でも10℃以上をキープしてくれています。この時期、株の成長は緩やかで、ようやく1段目の実が色づき始めました。収穫予定日は12月下旬ですが、ある程度の量が確保できるのは1月中旬を過ぎてからになります。北陸では2月中旬ごろまで低温・低日照が続き、トマトの生育は遅いです。それらを少しでもカバーできるように温度・日照の面での改善・工夫に取り組んでいます。

12月は主に各ハウスでのリセット作業をしました。全3.5棟中の2.5棟がリセットを実施。内0.5棟は次作で有機栽培を開始するために各資材の撤去、防草シートの撤去を実施。写真のようにハウス内には何も無い状態となっています。ここから堆肥などで土壌改良をし、少しずつ有機栽培ができる環境に変化させていきます。他の2棟は通常通りのリセットを実施、内1棟はすぐに植え替え予定ですので、12月中には定植準備を済ませ苗を定植し、収穫は4月下旬から5月上旬を予定しています。ちなみにもう1棟は3月に定植を予定しています。



新しい年を迎え、今年はさらに羽咋の圃場での自然栽培に力を入れていきます。露地では数種類の野菜を植える予定で、夏ごろにはトマト以外の収穫物のご紹介ができるはずです。皆様方楽しみにお待ちしております。（担当：畠中）

トマトはこちらの2つのサイトからご購入いただけます。



明けましておめでとうございます。Kaiho Middle Eastの畳谷です。

UAEは1月1日にいつもとは違った角度から新たな世界初を獲得しました。それは従来の週休2日制(金曜日、土曜日)から週休2.5日制(金曜日の午後、土曜日、日曜日)へシフトするという取り組みです。

この発表でUAEは世界で初めて週5日制より短い労働時間を導入した国となりました。世界初のために半休を足したのかは分かりませんが、世界一位への執着に私は笑ってしまいました！

目的は、土曜・日曜の週末を持つ国々との金融・貿易・経済取引が円滑に行われるようにすることや、UAEに拠点を置く何千もの多国籍企業が国際的なビジネスのつながりをつくりやすくするためのようです。参考にしたサイトでは、この発表についてのリアクションが割合で表示されており、私の閲覧時点では、肯定的が55% 否定的が39% 何も思わない6%と賛否両論がありました。もちろん私の商売拠点シャルジャにも少しずつ影響が出てくると考えられますが、私はマーケットの変化を楽しみながら様々なことに挑戦できそうでワクワクしています！今年も皆様のご要望にお応え出来るよう努めていきますので、どうぞ宜しくお願いいたします！

地図：紫部分がKMEのあるシャルジャです。

写真：KMEできれいに並べられたエンジンです。



今月のパチリ☆

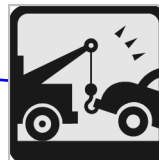


こんにちは。当社がスポンサーとして応援しているサッカーJ2リーグのツエーゲン金沢が無事に今シーズンを戦い抜きました。今シーズンはスタートダッシュに成功したものの、4月からは勝ちきれない試合が続き、9月以降は降格圏へ突入、J2史上最も過酷と言われる残留争いに巻き込まれることに。ハラハラドキドキの試合が続きましたが、12月5日行われた最終戦を引き分けて終わることができ見事にJ2残留を勝ち取りました。苦しい時でもあきらめない選手皆さんの姿、特に最後の2試合は正に「全力とは全員の力だ」という団結力と気迫あふれるプレーを見ることが出来てとても感動しました。

更に、シーズン終了後には選手の方々が当社にタイヤを購入しに来て下さいました。実物の選手にお会い出来てまた感動しました。ツエーゲン金沢様、いつもありがとうございます。(担当：川村)



相場情報 ～生産部より～



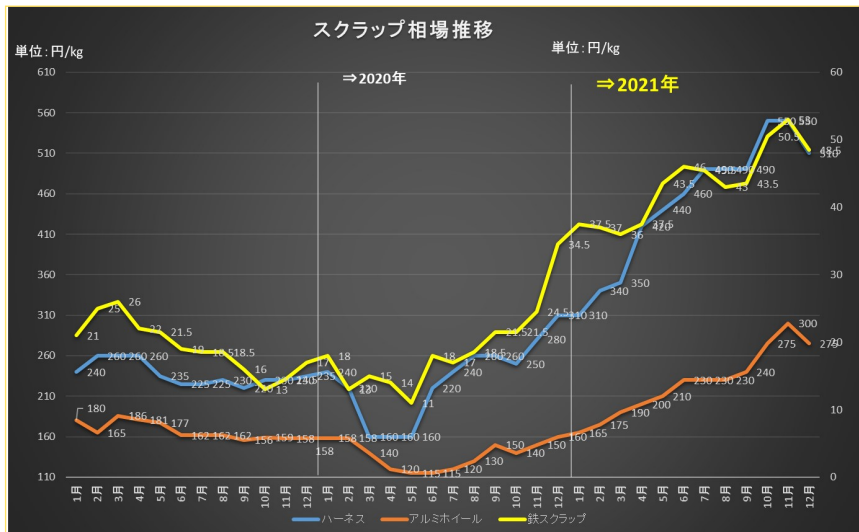
2021年12月 見込み台数

入庫台数 710台

処理台数 650台

こんにちは。会宝産業の山口です。北陸は冬本番・・・雪の季節になりました。

さて、相場はというと・・・鉄相場に関しては国内高・輸出安の展開が2ヵ月ほど続きましたが、10月下旬に急落した中国の鉄相場も12月中旬には持ち直し、国内相場の値下げも落ち着いたのではないのでしょうか。思い返せば2020年の5月の鉄相場は11円/kgだったものが年末には35円/kgとなり、2021年11月には55円/kgにまで上昇しました。相場が50円を超えるのはリーマンショック前後が記憶に有りますが、それ以前50年遡ってもありませんでした。現在の相場を「正常」と見るのか、それとも「異常」と見るのか、相場を変動させている要因を一つ一つ考えて判断していく必要がありますね。

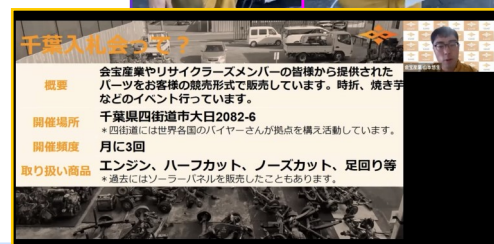


今月のトピックス ～ KRA勉強会 千葉入札会オンライン実況生中継 ～

2020年から2021年の2年間で、合計14回のKRA勉強会を行いました。2020年の1月に開催した海外勉強会以外の13回は全てオンラインでした。この変化はまさに「コロナのおかげ」です。そんな昨年の最後を飾ったイベントが「千葉入札会オンライン実況生中継」でした。

このきっかけは、夏にありました。真夏の一大イベントである「会宝リサイくるまつり」が中止となった時に、まつりの実行委員長を中心に「オンライン工場見学」が出来ないかという提案がありました。それを受けて千葉営業所のメンバーが「それだったら同業者のKRAメンバー様向けにやってみたい」ということで、今回の企画が誕生しました。

事前に千葉営業所のメンバーを中心に試行錯誤を重ね、当日は初の試みではありましたが、とても面白い内容で35名の方にご覧いただき、お客様からは「出品をしてみたい」や「ぜひ直接みたい」という声も聞かれました。今年もお客様に喜ばれる企画を考えていきます。(担当: 佐藤)



右のQRコードは
読み取るだけでなく
直接クリックしても
ページを閲覧できます。

会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



ご意見ご要望はこちらまで
TEL 076-237-5133
soumu@kaiho.co.jp
(担当: 宮村)